

ゲル化剤・増粘剤の基礎・特性・評価法

～ゲル化・増粘効果の評価法／粘弾性データの見方・評価法～

日時 2016年5月25日(水) 12:30～16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 江東区産業会館 第2会議室 東京都江東区東陽4-5-18

定員：30名

受講料 49,980円 ※資料付

※満席になり次第、

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

講師 松本 孝芳 氏 京都大学 名誉教授 工学博士

このセミナーの

趣旨

ゲル化剤や増粘剤は多くの産業分野で広く利用されている。両者ともに主にゲル化や粘度を調整するために使用される。ゲル化剤・増粘剤の多くは高分子物質であり、その種類も多様である。従ってゲル化・増粘効果を有効的に発揮する方法も、分子量、濃度、温度、更にはその取り扱う条件で多様に異なる。その理解が困難である。本セミナーではゲル化剤、増粘剤の種類について述べるとともに、多くのゲル化・増粘剤の効果を統一的に理解するための機構を、現象論的にさらには分子レベルから解説する。またそれらを統一的に理解する評価法について講述する。また適宜、上記のことを理解するための基礎的事項についても解り易く解説する。

申込受付は終了しました

プログラム

1. ゲル化剤、増粘剤の分類

- 1.1 高分子系、天然高分子とその誘導体、合成高分子
- 1.2 無機微粒子系
- 1.3 低分子ゲル化剤系

2. 代表的なゲル化・増粘剤の特性

- 2.1 多糖類及びその多糖誘導体
- 2.2 合成高分子
- 2.3 無機系微粒子
- 2.4 低分子ゲル化剤(oil gelator)

3. ゲル化、増粘機構とその原動力

- 3.1 ゲル化・増粘機構のいろいろ
- 3.2 分子間に作用するいろいろな力

4. 粘性の起源

- 4.1 流動とは何か
- 4.2 粘度の濃度依存性

5. 弾性の起源

- 5.1 弾性変形とは何か
- 5.2 エネルギー弾性とエントロピー弾性

6. ゲル化剤・増粘剤の効果と評価

- 6.1 ゲル化・増粘効果をレオロジーの共通語で理解する
- 6.2 緩和時間とは何か
- 6.3 ゲル化・増粘効果と緩和時間

7. 実際のデータの解釈

セルロース系、アルギン酸溶液系、カドラン溶液系、キトサン・キチン誘導体系、低分子ゲル化剤系、その他の系

8. ゲル化・増粘効果を評価する便利な測定法

その他、ゲル化・増粘効果を理解するための基礎的事項についての解説

【質疑応答】

『ゲル化剤・増粘剤の基礎・特性・評価法』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238** までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。